

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 12 月 5 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・博士課程学生
氏名	田島夏子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
南知多ビーチランド
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
飼育下ハンドウイルカにおける当歳児の誕生直後からのペア遊泳行動の観察
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 27 年 6 月 13 日 (1 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
南知多ビーチランド 櫻井夏子主任
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

本渡航は、継続的な観察が可能な飼育下ハンドウイルカの母子のペア遊泳時の社会行動を誕生直後から生後4か月まで観察し、ハンドウイルカ新生児における社会性の発達過程と母親の子育てへの投資の変化を明らかにするために、水槽付近に定点観察用のビデオを設置することを目的とした。

ビデオは、SONY XR550v、SONY XR590v の2台を三脚に取り付け、一台は屋外から水槽の上部全体が映るように設置し、一台は屋内の水中観覧窓から水槽全体が映るように設置した。(図1、2、3)

水槽内には妊娠している13歳のメスのハンドウイルカ一頭と、新生児のベビーシッター役として6歳のメスのハンドウイルカが一頭飼育されている。

観察期間は6月13日から4か月程とし、撮影時間は毎日朝8時半から17時まで、雨の日以外は屋外、屋内両方から撮影を行うこととした。録画の開始、終了は水族館のスタッフの方々をお願いをした。



図1. 屋外設置の定点観察用ビデオ

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



図2. 屋外からの様子

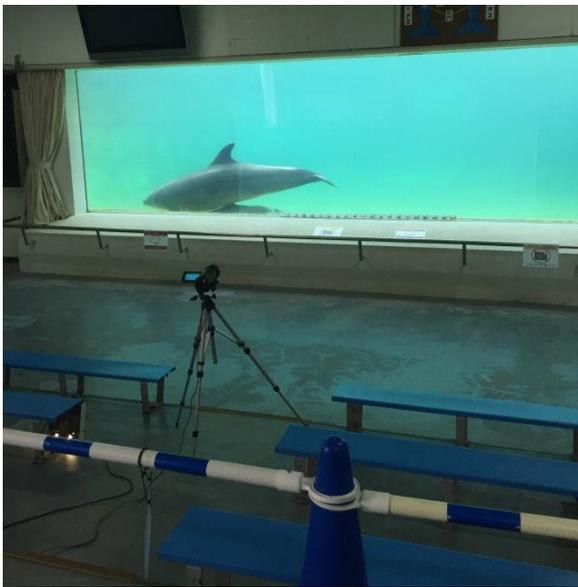


図3. 屋内に設置した定点観察ビデオ

6. その他 (特記事項など)

快く観察依頼に応じていただきました南知多ビーチランドの皆様、特に設置、観察の相談に乗ってくださいました櫻井夏子主任に心から感謝申し上げます。
また、本渡航を支援してくださった PWS プログラム関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。